

書籍

1. 今中雄一. 医療の質、経済性、公正性、そして制度づくり. 今中雄一、大日康史 編. 医療制度・医療政策・医療経済. 丸善出版 2013年2月28日発行. p.1 - 31.
2. 猪飼宏. アメリカの医療制度. 今中雄一、大日康史 編. 医療制度・医療政策・医療経済. 丸善出版 2013年2月28日発行. p.103 - 112.
3. 大坪徹也、後藤悦、今中雄一. 医療保険システムの持続性. 今中雄一、大日康史 編. 医療制度・医療政策・医療経済. 丸善出版 2013年2月28日発行. p.256 - 271.
4. Otsubo T, Imanaka Y, Morishima T, Sasaki N, Park S, Lee J. Variations in Healthcare Spending and Quality among Institutions. In Handbook of Health Services Research. Sobolev B, Eds.; Springer Reference, 2012; (doi: 10.1007/SpringerReference_306586)

原著論文・その他論文（和文）

1. 今中雄一. II. 診療の質測定と改善 2.DPC データを用いた診療の質の可視化と向上. 日本内科学会雑誌 2012;101(12): 3419-3431.
2. 松永京子, 猪飼宏, 國澤進, 大坪徹也, 今中雄一. 薬剤管理指導業務実施状況における病院間差の関連要因—診療報酬請求データを活用した解析—. 日本医療・病院管理学会誌 2012;49(4): 195-203.
3. 大坪徹也, 今中雄一. 医療システムにおける評価指標としての再入院率. 日本衛生学雑誌 2012; 67(1):62-66.
4. 今中雄一. Quality Indicator : 米国の動向. 医薬ジャーナル 2011;47(9): 71-76.
5. 猪飼宏, 今中雄一. 社会と健康を科学するパブリックヘルス(7)「データに基づく地域医療政策・病院政策(その2)». 日本公衆衛生雑誌 2011; 58(6):471-473.
6. 大坪徹也, 今中雄一. 社会と健康を科学するパブリックヘルス(6)「データに基づく地域医療政策・病院政策(その1)». 日本公衆衛生雑誌 2011; 58(5):391-394.
7. 濱田啓義, 関本美穂, 今中雄一. タイムスタディと DPC データを用いた産婦人科診療の業務量把握. 日本医療・病院管理学会誌 2011;48(3): 171-179.
8. 志馬伸朗, 梅垣岳志, 関本美穂, 今中雄一, 阪井裕一, 羽鳥文麿, 日本集中治療医学会 新生児小児集中治療委員会. Diagnosis procedure combination (DPC) データを用いた市中病院における小児敗血症の分析. 日本集中治療医学会雑誌 2011; 18: 369-373.
9. 田中将之, 猪飼宏, 今中雄一. 手術室運用の効率性指標の検討と多施設間比較. 日本手術医学会誌 2011;32(1):20-24.
10. 今中雄一. 医療の質, コスト, アクセス, そして満足度: 医療制度づくりと HSR. 日本公衆衛生雑誌 2010; 57(11):1023-1028.

学会発表（国内）

1. 猪飼宏, Briere Jean-Baptiste, 今中雄一. 急性期医療機関の非弁膜症性心房細動患者における心血管イベント予防の現状と主要疾患発生リスク. 第32回医療情報学連合大会:新潟, 2012年11月15日-17日.
2. 大坪徹也, 森島敏隆, 佐々木典子, Jason Lee, 今中雄一. 脳梗塞における入院機能別コストテーブルの開発: 医療資源消費把握におけるポピュレーションアプローチ. 第32回医療情報学連合大会 (第13回日本医療情報学会学術大会):新潟, 2012年11月15日-17日.
3. 猪飼宏, 大坪徹也. 医師の男女別・専門別の地域分布の実態と影響. 日本医療・病院管理学会第309回例会: 京都, 2012年11月7日.
4. 大坪徹也, 今中雄一. 保健医療計画とデータ活用(2). 平成24年度 公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー: 山口, 2012年10月26日.
5. 大坪徹也, 中田祐広, 後藤悦, 福田吉治, 今中雄一. 医療計画に向けた臨床・行政・大学の協同によるエビデンス構築-山口県萩の事例-. 第71回日本公衆衛生学会総会: 山口, 2012

- 年 10 月 24 日-26 日.
6. 佐々木典子, 國澤進, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. 急性心不全患者の院内死亡予測モデル開発とリスク調整死亡率の病院間比較. 第 50 回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2012 年 10 月 18 日-19 日.
 7. 森島敏隆, 大坪徹也, 今中雄一. 在宅医療が癌患者の終末期医療費に与える影響の検証—京都府の診療報酬明細書データベースを用いた実証研究—. 第 50 回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2012 年 10 月 18-19 日.
 8. 朴声哲, 大坪徹也, 今中雄一. 糖尿病管理ターゲット集団の進行度に基づく地域プロファイリング. 第 50 回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2012 年 10 月 18 日-19 日.
 9. 大坪徹也, 國澤進, 佐々木典子, 森島敏隆, 今中雄一. 脳梗塞患者集団における機能別医療資源消費推移の可視化. 第 50 回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2012 年 10 月 18 日-19 日.
 10. 田中将之, Park Sungchul, 森島 敏隆, 猪飼 宏, 今中 雄一. 病院人材の職場への定着意欲と組織文化との関連. 第 50 回日本医療・病院管理学会: 東京, 2012 年 10 月 18 日-19 日.
 11. ジェイスン・リー, 森島敏隆, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. Regional Variations in Spending and Quality in Ischemic Stroke Patients. 医療経済学会 第 7 回研究大会: 横浜, 2012 年 7 月 21 日.
 12. 森島敏隆, Jason Lee, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. Impact of hospital case volume on quality of end-of-life care among cancer patients: a cross-sectional study using claims data. 医療経済学会 第 7 回研究大会: 横浜, 2012 年 7 月 21 日.
 13. 小林大介, 大坪徹也, 今中雄一. 拠点病院への患者の集中がアクセス時間とその不平等に及ぼす影響の評価. 医療経済学会 第 7 回研究大会: 横浜, 2012 年 7 月 21 日.
 14. Sungchul Park, Jason Lee, 猪飼宏, 大坪徹也, 宇川直人, 今中雄一. Quality of Care and Hospital Spending in Acute Myocardial Infarction: Evidence from Japan. 医療経済学会 第 7 回研究大会: 東京, 2012 年 7 月 21 日.
 15. 小林大介, 大坪徹也, 今中雄一. 病院の拠点化・集中化がアクセス時間やその公正に及ぼす影響. 第 82 回日本衛生学会学術総会: 京都, 2012 年 3 月 24 日-26 日.
 16. 松永京子, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. 診療報酬から見た病院薬剤師の業務量: その可能性と課題. 第 82 回日本衛生学会学術総会: 京都, 2012 年 3 月 24 日-26 日.
 17. 國澤進, ジェイスン・リー, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. ジェネリック医薬品の使用状況解析—新しい指標の提案. 第 82 回日本衛生学会学術総会: 京都, 2012 年 3 月 24 日-26 日.
 18. 大坪徹也, 今中雄一. 医療・介護システムの評価と計画—京都府あんしん医療制度プロジェクトの成果と可能性. 第 82 回日本衛生学会学術総会 シンポジウム (健康経済研究会) 「データに基づく医療政策・計画: 最前線と将来展開»: 京都, 2012 年 3 月 24 日-26 日.
 19. 佐々木典子, 國澤進, 猪飼宏, 今中雄一. Clinical Profiles of Hospitalized Acute Heart Failure Patients Using DPC Administrative Database. 第 76 回日本循環器学会学術集会: 福岡, 2012 年 3 月 16 日-18 日.
 20. 本橋隆子. 日本理学療法士協会「提案型管理者育成を目指したワークショップ»: 東京, 2012 年 2 月 11 日-12 日.
 21. 小林大介, 大坪徹也, 今中雄一. 疾病別患者移動時間分析から見た医療提供体制の地域差. 第 31 回 医療情報学連合大会 (第 12 回日本医療情報学会学術大会): 鹿児島, 2011 年 11 月 21 日-23 日.
 22. 田中将之, 宇川直人, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. 病院組織文化と患者満足度との関連: 多施設ベンチマーキング・データに基づく解析. 第 31 回 医療情報学連合大会 (第 12 回日本医療情報学会学術大会): 鹿児島, 2011 年 11 月 21 日-23 日.

23. 宇川直人, 猪飼宏, 今中雄一. 急性心筋梗塞・心不全における臨床指標値の経年的変化の多施設分析. 第31回 医療情報学連合大会 (第12回日本医療情報学会学術大会): 鹿児島, 2011年11月21日-23日.
24. 濱田啓義, 猪飼宏, 今中雄一. 急性期病院における漢方製剤の処方状況に関する検討. 第31回 医療情報学連合大会 (第12回日本医療情報学会学術大会): 鹿児島, 2011年11月21日-23日.
25. 宇川直人, 大坪徹也, 今中雄一. 都道府県別歯科医師数が歯科医療費に及ぼす影響の検討. 第70回日本公衆衛生学会総会: 秋田, 2011年10月19日-21日.
26. 森島敏隆, 猪飼宏, 今中雄一. Cost-effectiveness analysis of omalizumab for the treatment of severe asthma: results from a randomized controlled trial in Japan and the value of responder prediction methods. 医療経済学会 第6回研究大会: 東京, 2011年9月19日.
27. Sungchul Park, Jason Lee, 宇川直人, 國澤進, 大坪徹也, 猪飼宏, 今中雄一. 急性心筋梗塞診療の質と病院の競合状態および症例数との関係. 医療経済学会 第6回研究大会: 東京, 2011年9月19日.
28. 國澤進, 猪飼宏, 今中雄一. 平均在院日数を用いた病院の効率性を表す指数の検討. 第49回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2011年8月20日-21日.
29. 宇川直人, 猪飼宏, 今中雄一. 臨床指標の公表・非公表に関する病院特性の検討. 第49回日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2011年8月20日-21日.
30. 濱田啓義, 関本美穂, 今中雄一, 安川文朗. 時間外受診、高度医療機関受診に関するWTP調査. 第49回 日本医療・病院管理学会学術総会: 東京, 2011年8月20日-21日.
31. 今中雄一, 猪飼宏. 医療の質の評価・公表推進に係わるDPCデータの可能性と課題. 第61回日本病院学会: 東京, 2011年7月14日-7月15日.
32. 大坪徹也, 今中雄一, ジェイスン・リー, 森島敏隆. 医療療養病床における利用実態の把握と必要病床数の推計方法に関する検討. 第19回日本慢性期医療学会札幌大会: 札幌, 2011年6月30日-7月1日.
33. 大隈和英, 関本 美穂, 今中 雄一. 2004年から2009年における, わが国の急性胆管炎の診療パターンの変化についての検証~DPCデータを用いた, 診療ガイドライン刊行前後の急性胆管炎の診療形態の変化~. 第111回日本外科学会総会: 東京, 2011年5月26日-28日. (震災のために総会中止。抄録のみの誌上開催。)
34. 梅垣岳志, 今中雄一. 集中治療医が影響を及ぼす診療プロセスについての検討. 第38回日本集中治療医学会学術集会: 横浜, 2011年2月24日-26日. (抄録: 日本集中治療医学会雑誌 18 Supplement: p354, 2011)
35. 小林大介, 大坪徹也, 後藤悦, 森島敏隆, 濱田啓義, 今中雄一. 患者移動分析に基づく疾病別医療圏の考察. 第30回医療情報学連合大会 (第11回日本医療情報学会学術大会): 浜松, 2010年11月20日.
36. 森島敏隆, 今中雄一. レセプトから見た非小細胞肺癌(NSCLC)の1st line化学療法のレジメンの実施割合. 第51回日本肺癌学会総会: 広島, 2010年11月3-4日. 1. (抄録: 第51回日本肺癌学会号: p616, 2010)
37. 大坪徹也, 今中雄一. 急性期循環器系疾患における診療圏から医療圏への接近. 第48回日本医療・病院管理学会学術総会: 広島, 2010年10月15日-16日.
38. 猪飼宏. DPCデータを地域医療計画にどう活かすか 医療技術普及の地域間格差. 第48回日本医療・病院管理学会総会: 広島, 2010年10月15日. (抄録: 日本医療・病院管理学会誌(1882-594X)47巻 Suppl. Page65(2010.09))
39. 本橋隆子, 関本美穂, 今中雄一. 急性期病院における脳梗塞患者の転院割合に関連する診療提供体制と地域の医療・介護資源の検討. 第48回日本医療・病院管理学会学術総会: 広島, 2010年10月15-16日
40. 宇川直人, 猪飼宏, Jason Lee, 国澤進, 今中雄一. 周術期の予防的抗菌薬投与日数に関する手術領域別・多施設横断的分析. 第48回日本医療・病院管理学会学術総会: 広

- 島, 2010年10月15-16日.
41. 後藤悦, 大坪徹也, 濱田啓義, 森島敏隆, 小林大介, 今中 雄一. 国民健康保険世帯保険料の将来推計. 第50回 全国国保地域医療学会: 京都, 2010年10月8日.
 42. 田中将之, 猪飼宏, 今中雄一. 手術室運営における効率性に関する評価指標の検討. 第32回日本手術医学会総会: 横浜, 2010年10月1日-2日.
 43. 猪飼宏, 大坪徹也, 林田賢史, 今中雄一. 心不全診療における費用の構造 入院DPCデータを用いた原価計算から分かること. 第58回日本心臓病学会学術集会: 東京, 2010年9月17日. (抄録: 日本心臓病学会誌(1882-4501)2巻 Suppl.I Page111(2010.08))
 44. ジェイスン・リー, 今中雄一, 関本美穂, 西川治央, 猪飼宏, 本橋隆子, The QIP Expert Group for Clinical Evaluation. Validating a post-operative infection identification method for multi-institutional comparisons. 医療経済学会 第5回研究大会: 東京, 2010年7月10日.
 45. 福田治久, 大隈和英, 今中雄一. 腹部大動脈瘤切除術の集積と在院日数の関連性に関する検討. 医療経済学会 第5回研究大会: 東京, 2010年7月10日.
 46. 佐々木弘真, 大坪徹也, 今中雄一. 二次医療圏における小児科医増減の要因分析. 医療経済学会 第5回研究大会: 東京, 2010年7月10日.
 47. 大坪徹也, 今中雄一. 救急車搬送時間における地域差に関する要因の分析. 医療経済学会 第5回研究大会: 東京, 2010年7月10日.
 48. 梅垣岳志, 関本美穂, 今中雄一. 集中治療室の組織モデルに基づく診療プロセス・アウトカムの検討 (Impact of Intensive Care organization on Care Processes and Outcomes of Patients with Severe Sepsis). 日本麻酔科学会 第57回学術集会: 福岡, 2010年6月3日-5日.

国際学会等発表

1. Lee J, Otsubo T, Imanaka Y. Quality and Costs of Health Care for Acute Stroke in Japan. The International Society for Quality in Health Care 29th International Conference, Geneva, Switzerland. 21-24 October, 2012.
2. Otsubo T, Lee J, Ikai H, Imanaka Y. The effects of weekend and after-hours admissions on mortality in acute myocardial infarction patients in Japan. The International Society for Quality in Health Care 29th International Conference, Geneva, Switzerland. 21-24 October, 2012.
3. Imanaka Y, M. Hashimoto T, Hasegawa T, Kawakita H and Healthcare Accreditation Working Group. Impact and future of healthcare accreditation: fifteen-year achievement of JCQHC (Japan Council For Quality Health Care) The International Society for Quality in Health Care 29th International Conference, Geneva, Switzerland. 21-24 October, 2012.
4. Kunisawa S, Lee J, Otsubo T, Ikai H, Imanaka Y. The Importance of Ambulance Utilization in the Administration of Tissue Plasminogen Activator to Acute Ischemic Stroke Patients. The 28th Patient Classification Systems International Conference, Avignon, France. 17-19 October, 2012.
5. Tanaka M, Otsubo T, Hayashida K, Lee J, Imanaka Y. Development of Patient-Oriented Costing System by Function Tracing. The 13th Annual Conference of the Asian Academic Accounting Association, Kyoto, Japan, 9-12 November, 2012.
6. Park S, Lee J, Ukawa N, Ikai H, Imanaka Y. The Association between Quality of Care and Hospital Spending in Patients with Acute Myocardial Infarction: Evidence from Japan. The 4th Biennial Conference of the American Society for Health Economists, Minneapolis, Minnesota, USA. 10-13 June, 2012.
7. Morishima T, Ikai H, Imanaka Y. Cost-effectiveness of omalizumab for the treatment of adults with moderate to severe persistent asthma: results from a

- randomized controlled trial in Japan. The 33rd Annual Meeting of the Society for Medical Decision Making, Chicago, IL, USA. 24-26 October, 2011.
8. Lee J, Imanaka Y. Estimation of the Cost of Hospital-Acquired Infections in Gastrectomy Patients: An Exploration of Methodology. The 27th Patient Classification Systems International Conference, Montreal, Canada. 19-22 October, 2011.
 9. Okuma K, Sekimoto M, Imanaka Y. The Change of Diagnostic and Treatment Patterns of Acute Cholangitis in Japan from 2004 to 2009 -The inspection in using of administrative data for impact of the clinical guideline. 9th Congress of European Hepato-Pancreato-Biliary Association, Cape Town, South Africa. 12-16 April, 2011.
 10. Lee J, Imanaka Y, Sekimoto M, Nishikawa H, Ikai H, Motohashi T. The validation of a novel method for identifying healthcare-associated infections. ISPOR 4th Asia-Pacific Conference, Phuket, Thailand. 5-7 September, 2010.
 11. Imanaka Y, Otsubo T, Lee J, Park S. Practice Variation among Providers and Regions in Japan: Status, Cause and Policy. Wennberg International Collaborative. London, 11-13 September 2011. 【招待講演】
 12. Imanaka Y, Otsubo T, Lee J, Park S, Ikai H. Determinants of quality, cost and access variation in cerebral and cardiovascular care. Wennberg International Collaborative. London, 10-12 September 2012. 【招待講演】
 13. Imanaka Y. Healthcare Accreditation and Quality Issues in Japan. Consultation on the Health Care Quality Improvement Network in the Asia-Pacific Region (WHO and OECD). WHO Regional Office for the Western Pacific. Manila, Philippines 27-28 November 2012. 【招待講演】

